授業科目カリキュラム表

課程：専門課程

科　　名	港湾流通科 物流情報科	教科の区分	専攻学科
教科の科目	港湾流通概論（港湾流通科） 物流論　　（物流情報科）		
授業科目	港湾総論	単　位	2
授業科目の目標	港湾の概念、港湾行政と管理運営、港湾業務の体系、現代港湾の諸問題などを通して、港湾業務の概要を体系的に習得する。		

授業科目の細目	授業科目の内容	時間
1. 港湾の概念	(1) 港湾の概念 (2) 港湾の種類	4 H
2. 港湾と船舶	(1) 船舶の種類と要目 (2) 船舶の運動性能	4 H
3. 港湾と貨物	(1) 貨物の種類 (2) 荷印 (3) 荷役	4 H
4. 港湾関係の官庁と企業	(1) 港長、港湾管理者 (2) 税関、入国管理事務所、検疫所、動植物防疫所 (3) 地方運輸局、船舶代理店	8 H
5. 港湾施設	(1) 水域施設と外郭施設 (2) 係留施設と荷捌施設 (3) 埠頭	8 H
6. 法令	(1) 港湾法、港湾運送事業法 (2) その他の関係法令	4 H
7. 港湾計画と港湾工事	(1) 港湾計画 (2) 港湾工事	4 H
		合計 36 H

使用する機械器具等	パソコン、プロジェクタ等機器

令和元年10月改訂

授業科目カリキュラム表

課程：専門課程

科　　名	港湾流通科	教科の区分	専攻学科
教科の科目	港湾流通概論		
授業科目	港湾産業論	単　位	2
授業科目の目標	港湾には多くの企業が存在していることから、港湾に関係する港湾産業の構造を体系的に理解し、各産業が果たしている役割と港湾労働の構造を習得する。		

授業科目の細目	授業科目の内容	時間
1. 港湾産業の概要	(1) 港湾産業の概要 (2) 港湾利用者（荷主、海運業者等）	4 H
2. 港湾運送事業	(1) 港湾業務の体系と港湾労働の構造 (2) 一般港湾運送事業者の役割 (3) 港湾荷役事業者の役割 (4) はしけ事業者の役割 (5) いかだ事業者の役割 (6) 検数事業者の役割 (7) 鑑定事業者の役割 (8) 検量事業者の役割 (9) 港湾関連事業の役割	16 H
3. 倉庫業	(1) 倉庫業の概要 (2) 倉庫業者の役割	4 H
4. 通関業	(1) 通関業の概要 (2) 通関業者の役割	4 H
5. 情報業	(1) 港湾情報業の概要 (2) 船舶情報業の役割 (3) 貨物情報業の役割	4 H
6. 梱包業	(1) 梱包業の概要 (2) 梱包事業者の役割	4 H
		合計 36 H

使用する機械器具等	パソコン、プロジェクタ等機器

令和元年10月改訂

授業科目カリキュラム表

課程：専門課程

科　　名	港湾流通科	教科の区分	専攻学科
教科の科目	港湾流通概論		
授業科目	港湾特論	単　位	2
授業科目の目標	港湾に関する概況データから、港湾取扱貨物量の現実的側面を理解するとともに港湾の管理体制や行政の取り組みなどから港湾の現状を習得する。		

授業科目の細目	授業科目の内容	時間
1. 港湾の役割	(1) 日常生活と港湾 (2) 港湾の種類と数 (3) 我が国の輸出入構造の推移	4 H
2. 港湾取扱貨物の現況	(1) 港湾取扱貨物量の推移 (2) 品目別貨物取扱構成比の推移 (3) 港湾取扱貨物量ランキング (4) 三大湾の港湾取扱貨物量 (5) 外貿コンテナ貨物量・貿易額の推移 (6) 外貿コンテナ貨物量の仕向・仕出地域別貨物量の推移 (7) 港湾別外貿コンテナ貨物量及びコンテナ個数ランキング (8) 世界の港湾別コンテナ取扱個数ランキング	12 H
3. 港湾の管理運営	(1) 港湾管理者の概要 (2) 一部事務組合方式による港湾管理者の概要 (3) 埠頭公社の概要	8 H
4. 港湾行政の取組	(1) スーパー中枢港湾プロジェクト (2) 臨海部物流拠点の形成 (3) 港湾における情報化の推進 (4) 特区制度	12 H
		合計 36 H

使用する機械器具等	パソコン、プロジェクタ等機器

令和元年10月改訂

授業科目カリキュラム表

課程：専門課程

科　　名	港湾流通科	教科の区分	専攻学科
教科の科目	国際物流論		
授業科目	国際物流論	単　位	2
授業科目の目標	国際貿易を側面から支える国際物流の役割と特徴をふまえて、リンクとしての海運・航空、ノードとしてのフォワーダーやターミナル業務を対象として基本的な要素を習得する。		

授業科目の細目	授業科目の内容	時間
1. 貿易と国際物流	(1) 国際物流の概要 (2) 国際物流における荷主と物流業 (3) 貿易と国際物流 (4) 国際物流の現代的特長	6 H
2. 国際物流と海運業	(1) 国際物流と海運業 (2) 定期船海運とその実務 (3) 不定期船海運	10 H
3. 航空貨物輸送	(1) 航空貨物輸送の概要 (2) 航空運送状と運送責任 (3) 航空貨物の運賃	6 H
4. 国際複合輸送	(1) 国際複合輸送 (2) コンテナ輸送とコンテナターミナル (3) コンテナ貨物と通関業務	8 H
5. 国際物流とフォワーダー業務	(1) フォワーダーの概念と機能 (2) 貨物運送取扱事業法とフォワーダー (3) フォワーダーの経営戦略と3PL	6 H
		合計 36 H

使用する機械器具等	パソコン、プロジェクタ等機器

令和4年1月改訂

授業科目カリキュラム表

課程：専門課程

科　　名	港湾流通科	教科の区分	専攻学科
教科の科目	国際物流論		
授業科目	コンテナ論	単　位	2
授業科目の目標	コンテナの歴史、種類、コンテナターミナルの運営、コンテナによる通関と国際複合輸送システム等に関する知識を習得する。		

授業科目の細目	授業科目の内容	時間
1. コンテナ輸送の意義と歴史	(1) コンテナ輸送の意義 (2) コンテナ輸送の歴史 (3) コンテナ船の構造	4 H
2. コンテナの種類と構造	(1) コンテナの規格と分類 (2) コンテナの種類 (3) コンテナの積載重量と内容積	20 H
3. コンテナターミナル	(1) コンテナ・ターミナルの施設 (2) コンテナ・ターミナル内の荷役機器 (3) ターミナル業務と荷役方式	4 H
4. コンテナ貨物と通関	(1) コンテナ輸送に関する国際条約 (2) FCL貨物とLCL貨物 (3) コンテナ貨物の流れと通関 (4) 貨物のコンテナ扱い (5) 保税制度と保税運送	4 H
5. 国際複合輸送システム	(1) 北米向けルート (2) 欧州向けルート (3) 中南米向けルート (4) アジア地域向けルート	4 H
		合計 36 H

使用する機械器具等	パソコン、プロジェクタ等機器

令和4年1月改訂

授業科目カリキュラム表

課程：専門課程

科　　名	港湾流通科	教科の区分	専攻学科
教科の科目	交通論		
授業科目	船舶論	単　位	2
授業科目の目標	海上輸送手段の主体である船舶について、船舶の歴史、種類、構造、船員の構成、船社経営を取り巻く外部環境などを習得する。		

授業科目の細目	授業科目の内容	時間
1. 船舶の歴史と海運市場	(1) 船舶の歴史 (2) 船舶と海運市場	4 H
2. 船舶の種類	(1) 一般貨物船 (2) コンテナ船 (3) タンカー (4) 撒積船 (5) 自動車専用船 (6) 特殊船（曳船、押船、艀等）	12 H
3. 船体の部位と構造	(1) 船舶の大きさ (2) 船舶の主要寸法（長さ、幅、深さ、喫水） (3) 船体の部位 (4) 船体の構造	8 H
4. 船舶の運航体制	(1) 船員の構成 (2) 船員の種類 (3) 船員の役割	6 H
5. 船社経営と国際規則	(1) 内航海運会社と外航海運会社 (2) 世界の海運会社とアライアンス (3) 船舶の安全と国際規則	6 H
		合計 36 H

使用する機械器具等	パソコン、プロジェクタ等機器

令和元年10月改訂

授業科目カリキュラム表

課程：専門課程

科　　名	港湾流通科	教科の区分	専攻学科
教科の科目	荷役論		
授業科目	荷役論	単　位	2
授業科目の目標	港湾における荷役管理を理解し、荷役に関する知識、技術、実務について、各種専門船の荷役管理、貨物事故防止対策などを習得する。		

授業科目の細目	授業科目の内容	時間
1. 荷役の概要	(1) 荷役の定義 (2) 荷役用語の説明 (3) 荷役機器の説明	4 H
2. 荷役に関わる事業	(1) 船舶代理店の役割 (2) 港湾運送業の役割	4 H
3. 荷役の分類と各種専用船荷役	(1) 在来船における荷役 (2) コンテナ船における荷役 (3) 自動車専用船における荷役 (4) 重量物船における荷役 (5) タンカーにおける荷役	16 H
4. 荷役作業機器	(1) コンテナクレーンの概要 (2) 荷役作業の機械化・無人化技術	8 H
5. 荷役作業の安全管理	(1) 荷役作業上の安全対策 (2) 作業上の管理体制	4 H
		合計 36 H

使用する機械器具等	パソコン、プロジェクタ等機器

令和元年10月改訂

授業科目カリキュラム表

課程：専門課程

科　　名	港湾流通科	教科の区分	専攻学科
教科の科目	貨物論		
授業科目	貨物論	単　位	2
授業科目の目標	海上・航空運送、港湾・空港運送について、貨物分類、貨物輸送の流れと輸送機器、貨物の安全管理、輸送、運搬分析、ユニットロード、危険物などに関する事項を習得する。		

授業科目の細目	授業科目の内容	時間
1. 貨物の概要	(1) 貨物の概要 (2) 包装の概要	4 H
2. 貨物の分類	(1) 一般の分類 (2) 荷姿	4 H
3. 貨物の種類	(1) 木箱 (2) 段ボール箱 (3) ユニットロード	8 H
4. 貨物輸送の流れと輸送機器	(1) 各種貨物輸送の概要 (2) 海上・陸上・航空輸送機器の概要	8 H
5. 荷印	(1) 荷印、取扱い指示マーク	4 H
6. 特殊貨物	(1) 冷凍貨物 (2) 危険物	4 H
7. 貨物の安全管理	(1) 貨物の取扱上留意点	4 H
		合計 36 H

使用する機械器具等	

令和元年10月改訂

授業科目カリキュラム表

課程：専門課程

科　　名	港湾流通科	教科の区分	専攻学科
教科の科目	物流機械管理論		
授業科目	物流機械管理論	単　位	2
授業科目の目標	物流機械管理について、物流機械管理の概論、物流システムの管理、経済的計数管理、保有管理、安全管理などを習得する。		

授業科目の細目	授業科目の内容	時間
1. 物流機械管理の概要	(1) 物流機械の管理概要 (2) 物流機械の種類と特徴	4 H
2. 物流設備	(1) 物流設備の種類と特徴 (2) 物流機械・設備の機構システム	4 H
3. 各種管理手法	(1) 物流システムの管理手法 (2) 物流機械の保守・管理手法 (3) 安全管理手法	8 H
4. 買取とリース	(1) 買取とリース (2) 物流機械のリース	4 H
5. 物流機械の経済性と計数管理	(1) 法定耐用年数と減価償却 (2) 物流機械のコスト・損料方式 (3) 物流機械費率の算定 (4) 活動基準原価計算	12 H
6. 物流機械・設備への投資計画	(1) 資本の調達と運用 (2) 物流機械・設備への投資計画 (3) 意思決定	4 H
		合計 36 H
使用する機械器具等		

令和4年1月改訂

授業科目カリキュラム表

課程：専門課程

科　　名	港湾流通科	教科の区分	専攻学科
教科の科目	情報データ管理分析		
授業科目	情報データ管理分析	単　位	2
授業科目の目標	パソコンによる業務用アプリケーションなどを利用し、業務情報データの変遷について理解するとともに、それらのデータを用いて表計算ソフトによる分析技法を習得する。		

授業科目の細目	授業科目の内容	時間
1. 流通業の流れと業務適用	(1) 業務の流れ (2) 業務の適用（筋立て） (3) アプリケーションへの適用	18 H
2. データの考察と分析	(1) 受注データ ① 月間売上 ② 売れ筋商品 (2) 発注データ ① 月間仕入 ② 納期 ③ 不良品 (3) 粗利算出 (4) 棚卸作業 (5) 在庫管理 ① 適正在庫数 ② 安全在庫数	12 H
3. データ分析（課題）	(1) データベースからの有意データ抽出 (2) 表計算による分析	6 H
		合計 36 H

使用する機械器具等	パソコン、業務ソフトウェア、表計算ソフトウェア、データベースソフトウェア

令和4年1月改訂

授業科目カリキュラム表

課程：専門課程

科　　名	港湾流通科	教科の区分	専攻学科
教科の科目	流通情報処理		
授業科目	港湾情報処理	単　位	2
授業科目の目標	港湾先進国のEDI化の状況を踏まえて、日本の港湾情報システムの概要及びIT化の現状について習得する。		

授業科目の細目	授業科目の内容	時間
1. 情報通信の概要	(1) インターネットの通信技術 (2) Webサーバーの仕組み	4 H
2. 物流EDI	(1) EDIの概要 (2) 物流EDIの現状と導入 (3) インターネットを利用したEDI	8 H
3. 港湾EDI	(1) 港湾EDIの必要性 (2) 各種の港湾EDIの紹介 ① 港湾手続きEDI ② 検疫等手続EDI ③ 港湾管理者への手続EDI	12 H
4. 貿易書類	(1) 貿易書類の電子化 (2) 貿易書類のデータベース (3) 貿易書類の管理手法	12 H
		合計 36 H

使用する機械器具等	パソコン、プロジェクタ等機器

令和4年1月改訂